

2026年度中学生の主張 in かながわ募集要項

1 目的

中学生が、日常生活の中で考えていることを作文にして発表することを通して、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけ、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を伸ばすことを目的とします。

2 テーマ

- (1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
- (2) 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

上記のような内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを、少年らしく自由にユニークに、飾り気のない言葉で、**発表時間5分程度（400字詰原稿用紙4枚または5枚）**にまとめたもの。

3 応募資格

神奈川県内在住または在学の中学生（国籍は問わないが、日本語で発表できる者）

4 応募方法

(1) 応募原稿について

- ・ **A4判400字詰め原稿用紙（縦書き）4枚または5枚（1,600字程度）**
- ・ 本人直筆による原本
- ・ HB以上の鉛筆で記入
- ・ 手書きを原則とする（ただし障がい等による場合は可）
- ・ 各原稿用紙にページ番号と枚数を記入（1/4、2/4、…）
- ・ ホチキス等でとじない

(2) 原稿の書き出し書式について

- ・ 1行目に題名
- ・ 2行目に神奈川県・学校名（○○○立○○中学校）・学年
- ・ 3行目に氏名
- ・ 4行目以降に本文

(3) 応募条件について

応募は1人につき1作品のみ、未発表作品で自作のものに限る
（類似作品を同時に他のコンクール等に応募することも不可）

(4) 提出方法について

応募用紙をつけて、応募締切までに郵送または持参

(5) 提出後の作品の取り扱いについて

応募作品は返却しない

5 応募締切

令和8年9月4日（金）（当日必着。土日含め持ち込みも可）

6 発表大会

- (1) 期日 令和8年9月27日（日）
- (2) 会場 神奈川県立青少年センター スタジオ HIKARI
- (3) 内容 作文発表 アトラクション 表彰

7 選考

(1) 作文審査（事前審査）

作文審査員による事前審査会を実施し、発表大会出場者7名と奨励賞受賞者10名を決定します。

(2) 発表審査

発表大会を実施し、大会審査員により最優秀賞受賞者1名と優秀賞受賞者6名を決定します。最優秀賞受賞者は、独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する「少年の主張全国大会」への出場候補者として推薦します。（関東甲信越静地区より3名選出）

8 審査基準

(1) 論旨（作文審査では論旨のみ）

- ①中学生らしい新鮮な主張や新しい視点があるか
- ②個人の感想や体験にとどまらず、一般性・社会性があるか
- ③提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか
- ④論旨が一貫し、構成がしっかりしているか
- ⑤表現が適切であるか

(2) 論調・態度

- ①共感と感銘を与えているか
- ②説得力のある話し方であるか
- ③話しぶりに熱意と迫力があるか

(3) 発表時間

- ①概ね5分程度であるか

9 表彰

選考の結果、次の賞状と記念品を贈ることとします。

最優秀賞（神奈川県知事賞）	1名
優秀賞（神奈川県教育長賞）	1名
優秀賞（神奈川県福祉子どもみらい局長賞）	1名
優秀賞（神奈川新聞社賞）	1名
優秀賞（NHK横浜放送局長賞）	1名
優秀賞（tvkかながわMIRAI賞）	1名
優秀賞（神奈川県青少年育成アドバイザー連絡協議会会長賞）	1名
奨励賞（神奈川県立青少年センター館長賞）	10名

10 学校賞

学校で作文の評価を実施した場合、校内で特に優れていると評価された作品があれば、学校の申請に応じて、上記の表彰とは別に賞状（学校賞）を送ります。「学校賞申請用紙」に対象者をご記入の上、作文と応募用紙とともに事務局までご送付ください。

- 例) 校内の応募総数200作品のうち、校内選考で優秀な20作品に絞って送付 → 20名に賞状を希望
校内の応募総数5作品すべてを送付 → そのうちの優秀な2作品に賞状を希望
作文指導を通して、とても良い作品になった → その作品に賞状を希望

11 その他

受賞作品は記録集として印刷製本し、各関係機関に配布します。

提出された作品の著作権は主催者に帰属し、大会時の模様(作品、映像、写真等)は広報その他の資料として活用します。

12 送付先・問合せ先

神奈川県立青少年センター 指導者育成課
郵便番号 220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1
電話 045-263-4466（月曜日休館）